

人口減少と空き家問題、地域コミュニティの衰退と伝承文化の消滅…
地域に迫る危機にどのように取り組んだらいいのか…？

全国でも先進的な取り組みを行っている徳島県佐那河内村の熱き推進者
をお招きし、地域住民目線で考え、取り組む大切さを学びます。



徳島県佐那河内村 総務企画課
環境カウンセラー／
徳島県キャンプ協会理事など

やすとみ けいじ
安富 圭司氏

先進地

実践

移住定住の先進地として有名な佐那河内村職員として、地方創生、移住・定住促進を担当
して5年。地域とともに様々な事業を展開している。

地方創生では、ふるさと納税を活用して財団法人を設立し、空き家・遊休不動産を活用し
たビジネスや移住支援、企業誘致なども展開。

また、地域の若者と移住支援団体を立ち上げ、県内外の各機関と連携して、村独自の古民
家活用や移住支援体制も構築している。



NPO 法人
100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター副事務局長
鳥取大学地域学部非常勤講師／立教大学観光学部兼任講師

かすみ かずお
嵩 和雄氏

研究

実践

東洋大学法学部法律学科卒業後、工学研究科博士課程へ進学。在籍のまま熊本県阿蘇郡小
国町に移住し（財）阿蘇地域振興デザインセンター研究員として勤務。翌年に大学院単位取
得退学後、熊本県小国町の（財）学びやの里研究員として勤務し、研究の傍ら、九州ツーリ
ズム大学事務局、フリーペーパー作成、廃線跡活用プロジェクト等のまちづくりに直接かか
わる。2009年11月 東京にUターンし現職。

地域目線の移住政策と 地域コミュニティの継承

2017

9 / 4 (月) 9:30 ~ 12:00
【開場】 9:00

会場：紫波町情報交流館

※前日9月3日(日)の夜 紫波町にて懇親会あり

主 催：紫波町、NPO 法人いわて地域づくり支援センター
申込み：☎0198-29-5515 ☒ iwacen_2005@iwa-c.net

**定員20名
参加費無料**